

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	センチュリー児童デイサービスほうしま			
○保護者評価実施期間	2023/4/1 ～ 5月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2023/4/1 ～ 5月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校でも家庭でもない、第三の居場所として、年齢も障害特性も異なる集団の中で、社会性を身につけ、一定のルールやマナーを守ったうえで、自由に楽しく過ごすことが出来る様な社会性（技術）を学んでいける支援を目指している。	利用者の動線に沿って、絵カード等を掲示し意思伝達しやすい空間になるよう努めている。 スタッフの名前が思い出せずに話しかけられなくなる様な事を防ぐために、名前入りの顔写真を掲示していつでも見れるようにしている。	五感を充分に使った活動を通して、子どもの感性・人格を育んでいける支援の提供。
2	学校休業日には地域や郊外の施設を積極的に活用し、交流や体験の場を創出している。	手帳や減免の効く施設・イベントを日頃からチェックしている。	買物や公共交通機関の利用の機会を増やす。
3	福利厚生に手厚く、働きやすい職場である。	年間休日123日、正社員には毎年4日の特別有休を付与し、希望休にも柔軟に対応している。	スタッフからの要望、社会情勢に応じて、適宜対応していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	基準は満たしているが、利用者数に対して職員数が少ない。	収支バランスが悪く積極的な採用活動が出来ない。	コスバの良い採用ツールとして、短時間のスポットワークでの求人活動をととして、採用につなげていく。
2	I C T化が遅れている。	業務用のP Cのスペックがバラバラでシステム運用したくても共用出来ない。 エクセルで児事業所に特化した運用システムを作ってきたため、市販の運営支援システムでは細かい仕様面で不都合が目立ち、導入のハードルが上がってしまった。	ハードウェアのアップグレードと現行標準スペックの機器への交換を行う。 自前のエクセルと混合させた運用が可能な市販の運営支援システムを探している。
3	バリアフリー化の推進。	構造上の問題で入室迄の段差・階段は解消できない。 室内はバリアフリー化している。	室内にできる段差は適宜解消していく。